

NPO と協働した社会課題への取り組み — 「ラオス語絵本」の作成と現地の支援

沖電気工業株式会社
経営企画部

CSR 室長 柴田和佳子

「祝・絵本作成 1000 冊達成!」。2015 年 7 月 11 日、土曜日午後の沖電気工業株式会社 (OKI) 本社会議室 (東京都港区) で、OKI グループの社員・家族ら約 40 人が、自ら作成した「ラオス語絵本」を手に笑顔で写真に納まった。

これは、OKI が特定非営利活動法人 (NPO)「ラオスのこども」との協働により毎年 7 月に実施している社会貢献イベント「ラオス語絵本を作ってラオスの子どもたちに送ろう!」の 1 コマである。ボランティア参加した社員らが、日本語の絵本にラオス語の翻訳文を貼り付けてラオス語の絵本を作成するイベントであり、これまで 16 回の活動によって作成された累計 1017 冊のラオス語絵本は、全て「ラオスのこども」の現地事務所を通じて、ラオスの小学校などに届けられている。



1000 冊を達成したラオス語絵本作成イベント

参加型と寄付型の社会貢献活動

OKI は、96 年に社会貢献推進の専任組織を設置した。同時に制定した社会貢献活動の基本理念・基本方針にのっとり、「できることから始めよう!」をスローガンに、寄付や社員のボランティ

ア活動支援などを組織的に推進している。

会社として支援・推進するボランティア活動には、社会福祉や環境保全などをテーマとした参加型の活動と、募金や物品収集などによる寄付型の活動がある。参加型ボランティア活動にはラオス語絵本作成のほか森林整備活動などがあり、寄付型ボランティア活動の特徴ある取り組みとしては「OKI 愛の 100 円募金」を行っている。「OKI 愛の 100 円募金」は、活動の主旨に賛同する社員から毎月 100 円の募金を集め、ボランティア団体の支援などを実施するもので、グループ 30 社の役員・社員が参加している (15 年 9 月現在)。

社員の活動紹介が協働の契機

OKI は、より幅広い社会貢献活動を行うため、各種の NGO や NPO と交流、協働している。これは、社会課題の解決への貢献、特に海外での活動に企業が取り組む上では、現地の社会情勢に精通し、確かなネットワークを築いている NGO などとの協働が不可欠であるとの考えによるものである。

今日まで続く「ラオスのこども」との協働は 2000 年、同法人の「ラオス語絵本プロジェクト」



これまでにラオスで現地出版した絵本、紙芝居の一部



「ラオスのこども」の
チャンタソン・インタヴォン代表

に個人参加していた1人の社員からの活動紹介をきっかけに始まった。ラオスは歴史的、経済的、地理的など様々な要因から教育環境の整備が遅れ、かつ口承文化の伝統が強いことから読書が習慣化されておらず、子どもたちが図書を通じて文字に親しむ機会がほとんどない。

「ラオスのこども」は、現地での絵本・児童書の出版や学校を中心とした読書推進活動の支援などを通じて、ラオスにおける教育の普及に取り組んでいる。これは2000年当時、国連ミレニアム宣言や主要国際会議、サミットなどでの国際開発目標を統合化するかたちで、まさにまとめられつつあった「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の「ターゲット2：普遍的初等教育の達成」にも貢献する活動であるといえる。

OKIは「ラオスのこども」との縁を、参加型・寄付型の2つのボランティア活動における協働としてかたちにした。

参加型の「ラオス語絵本作成イベント」は2000年から毎年開催しており、継続的に参加している社員ボランティアも多い。毎回、「ラオスのこども」による現地活



1000冊達成記念品
(ラオスの草木染めのしおりなど)



絵本作成に没頭する参加者たち

動の紹介やラオスの民芸品の販売、ラオスコヒーの試飲など、「今のラオスを知る」ための時間も設けている。

寄付型の社員募金活動では、01年度に「ラオスのこども」を「OKI 愛の100円募金」による支援団体に指定した。この募金によって「本の作り手」の育成にも資する、絵本や紙芝居の現地出版も支援している。14年度は新たな試みとして、「ラオスのこども」が現地で推進する学校図書室の整備活動を支援し、チャムパサック県にあるボンサイ中等学校(生徒数2020人)に図書室を開設した。

ソフト面も含めた現地活動の支援

16年間にわたる活動の中で、ラオスの現地事情も変化してきている。しかし中等学校にはまだ図書室がない学校が多く、利用したことがない教員も多い。このためボンサイ中等学校の図書室開設にあたっては、国立図書館のスタッフが講師となって、図書室の運営についての教員向けセミナーを実施した。このようなソフト面も含む現地事情に応じた支援は、「ラオスのこども」との協働あってこそできるものである。



新設されたボンサイ中学校図書室

OKIグループは今後とも、NGO・NPOとの適切な協働をグローバルな社会課題解決への取り組みに活かしていきたい。

◆ OKIグループのCSR

<http://www.oki.com/jp/csr/>

◆ OKIグループの社会貢献活動

<http://www.oki.com/jp/phil/>